

# “学びのデザインとwell-being”

日独学術交流シンポジウム2018

協働学習では他者との協働が不可欠であり、他者との交流を通して積極的に学習課題にかかわろうとする姿勢が必要とされる。一方、他者との関係性において自己存在の価値を意識することがwell-beingの一側面として捉えられていることから、協働学習を通じて育まれる自己存在の価値のあり方が、well-beingに影響すると考えられる。そこで協働学習について斬新な提案を行っている研究者や実践者らを招き、協働学習をwell-beingの視点からとらえなおした学びのデザインについて話題にする。

日時：2018年9月6日 13:00~15:00

場所：神戸大学人間発達環境学研究科

鶴甲第2キャンパス B棟 2階 208号室

*Empowering smart learning through interactive learning tasks and feedback strategies*

Prof. S. Narciss/ J. Rose (TU Dresden)

*Does empowering interactive learning through the collaborative learning school system promote students' well-being?*

M. Uemura/ Y. Wang/Prof. A. Ito / Prof. Y. Kato (Kobe University)

後援：神戸大学大学院人間発達環境学研究科  
ヒューマン・コミュニティ創成研究センター  
ヘルスプロモーション・健康行動支援部門

問い合わせ先：加藤佳子:ykatou@crystal.kobe-u.ac.jp